

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松沢 恵美
科目名 (英)	キャリアプランニングⅢ (Career planning Ⅲ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜・2限

【授業の学習内容】

コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。
 他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。
 実務経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でコンディショニング、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。

【到達目標】

職業人として必要なマナーや知識、技術を習得することを目的として就職活動に生かせる実践的なスキルを身につく事を目標とする。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション		
2回目	実践的な社会的スキルについて説明することができる		
3回目	履歴書の作成を行うことができる①		
4回目	履歴書の作成を行うことができる②		
5回目	履歴書の作成を行うことができる③		
6回目	面談のマナーについて説明することができる①		
7回目	面談のマナーについて説明することができる②		
8回目	面談のマナーについて説明することができる③		
9回目	模擬面接①		
10回目	模擬面接②		
11回目	模擬面接③		
12回目	模擬面接④		
13回目	模擬面接⑤		
14回目	まとめ		
15回目	就職活動の心得を実践することができる		
準備学習時間 外学習	授業で習った内容を日常生活で活用していきましょう。		
評価方法	1．定期試験（％） 2．小テスト（％） 3．レポート（％） 4．課題成果（100％） 5．実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	就職活動に向けて実践的スキルを身につけることを目的にしています。積極的に授業参加をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松沢 恵美
科目名 (英)	キャリアプランニングⅣ (Career planning Ⅳ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日 時限	火曜日 2限
【授業の学習内容】 コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。 他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。 実施者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でコンディショニング、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。病院併設の運動器リハビリセンターや、フィットネスクラブの立ち上げにも関わる。							
【到達目標】 職業人として知識、技術、作法を習得することを目的として就職後に生かせる実践的なスキルを身につく事を目標とする。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	名刺交換のマナーについて説明することができる		
3回目	名刺交換のマナーについて実践することができる		
4回目	訪問時のマナーについて説明することができる		
5回目	訪問時のマナーについて説明することができる		
6回目	来客対応の模擬実践①		
7回目	来客対応の模擬実践②		
8回目	謝罪のマナーについてについて説明できる		
9回目	クレーム対応について実践することができる		
10回目	クレーム対応について実践することができる		
11回目	クレーム対応の模擬実践①		
12回目	クレーム対応の模擬実践②		
13回目	会議やミーティングでの議論や意見交換を行うことができるスキルを実践できる		
14回目	グループディスカッション①		
15回目	グループディスカッション②、まとめ		
準備学習時間 間外学習	社会人に向けた内容になっています。就職活動等でも活かしてください。		
評価方法	1. 定期試験（％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（100％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生へのメッセージ	就職後に向けて実践的スキルを身につけます。積極的に授業参加をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	熊崎 悦子
科目名 (英)	情報技術Ⅲ (Computer SkillⅢ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部 (AIトレーナー/スポーツマネジメント)					曜日・時限	火曜・4限
【授業の学習内容】							
Word、Excel、PowerPointにおいて、情報技術ⅠおよびⅡよりもよりビジネスシーンに近い内容を行います。Wordでは、企画書を作成するのに便利な機能や名刺作成の習得、Excelでは、見積書、勤怠表などで使用する関数やアンケート集計に役立つピボットテーブルの習得、PowerPointでは、プロモーションに役立つ自動スライドショーの作成方法を習得することができますようになります。							
* 実務経験： 専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約20年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約9年行い継続中。Webサイト制作、プログラミングも請負中。（使用言語：ExcelVBA、AccessVBA、PHPなど）基本情報処理技術者、MOS Excel2019、工業高校教員2級を所持。							
【到達目標】							
ビジネスに必要な技術を習得すること。							
授業計画・内容							
1回目	Word&Excel Wordの文書にExcelのデータを差し込んで利用する方法がわかる						
2回目	Word1 名刺を作成する方法がわかる						
3回目	Word2 段組みについて理解ができる						
4回目	Word3 企画書の作成に便利な機能を習得する						
5回目	Word4 通知書の作成方法を習得する						
6回目	Excel1 基本的な関数とグラフの作成を習得できる						
7回目	Excel2 テーブル（データベース）としての活用方法がわかる、条件付き書式の使い方がわかる						
8回目	Excel3 別表参照の方法がわかる（見積書、納品書などの作成ができる）						
9回目	Excel4 顧客管理をするための機能を習得する						
10回目	Excel5 ピボットテーブルの使い方を理解できる						
11回目	PowerPoint1 マスタースライドの変更方法を習得する。プロモーション用の自動スライド作成方法がわかる						
12回目	PowerPoint2 プロモーション用の自動スライド作成方法がわかり、作成することができる（課題）						
13回目	PowerPoint3 プロモーション用の自動スライドを作成することができる（課題）						
14回目	Word、Excelのこれまで学んだ内容から資料を作成できる。（期末試験）						
15回目	解説						
準備学習 時間外学習	○Word 機能習得のための復習が必要です ○Excel ピボットテーブルの使い方や条件付き書式の使い方の復習が必要です。 ○PowerPoint プロモーション用の自動スライドショー作成のための事前準備として、デザインや写真、イラストの準備が必要です。						
評価方法	1. 定期試験（60%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（30%） 5. 実地試験（10%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	○PowerPointは、課題作成と提出にて評価を行う。 ○WordとExcelは、定期テストにて評価を行う。				
受講生への メッセージ	情報技術Ⅲでは、基本から少し発展した内容になります。授業の80%ほどで、ビジネスシーンにて使われるような内容を学習してもらいます。 即戦力としてPCを操作できるようになることを目標としています。						
【使用教科書・教材・参考書】							
○30時間アカデミックWord&Excel2019（1年生で使用したテキストを使います） ○USBフラッシュメモリ							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	ホスピタリティ II (Hospitality II)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	三輪陽子 杉本佳史
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	プロスポーツAIトレーナーコース スポーツマネジメントテクノロジーコース			(単位)	2	曜日・時限	金曜日 3限

【授業の学習内容】

さまざまな業界、業種で使用されているホスピタリティを学ぶことで、自身の分野への応用を考えていく。

【実務経験】

日本ホスピタリティ推進協会 ホスピタリティコーディネータ認定講師

【到達目標】

ホスピタリティ（付加価値共創）は、サービス（等価値交換）の上に乗っているものです。どの分野、社会においてもホスピ

タリティが必要であることを理解し、実際に使いこなす（習慣づける）ことを目標とします。

授業計画・内容			
1回目	ホスピタリティの振り返り		
2回目	車いすを知る（第2校舎）		
3回目	校外実習（資料館・街中・公園）①		
4回目	赤ちゃん和妈妈に学ぶ接遇（第2校舎）		
5回目	車いす校外実習（資料館・街中・公園）②		
6回目	中間プレゼンテーション		
7回目	メイクに関するホスピタリティ		
8回目	動物に関するホスピタリティ		
9回目	校外実習③		
10回目	他業種のホスピタリティ		
11回目	医療メタバースとユニバーサルデザインについて		
12回目	最新テクノロジーを知る/みる/つかう		
13回目	ホスピタリティレポート		
14回目	食に関するホスピタリティ（第3校舎）		
15回目	校外実習④		
準備学習 時間外学習	政治・経済・テクノロジー等のニュースを把握しておく		
評価方法	1. 講義の出席 2. レポート	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	・ 講義への出席日数 ・ ホスピタリティレポートの提出 ・ プレゼンテーション
受講生への メッセージ	ホスピタリティという知識と習慣を身に付けて日本だけでなく世界へ羽ばたく人材になりましょう！		
【使用教科書・教材・参考書】			
ニュース・新聞・ホームページ			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	栄養学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	種村 見名子
科目名 (英)	スポーツ栄養学 (Sports Nutrition)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）			(単位)	2	曜日・時限	金曜・2限

【授業の学習内容】
1年生時に学んだ栄養の基礎知識をもとに対象者のニーズに合わせた現場でのアドバイスができるよう、より実践的な知識の習得をねらいとする。
 * 実務経験:

2005年より学校給食、病院、行政で乳幼児栄養相談、特定保健指導、病態別栄養指導に従事。こども食堂の運営や食育教室を開催する傍ら、2014年から社会人フットサルチーム、企業所属の卓球選手、V2リーグのバレーボール選手、ラグビー選手の栄養サポートに携わる。パーソナルジムでの栄養指導も経験し、2023年に公認スポーツ栄養士を取得。

【到達目標】
スポーツ・フィットネス現場において、栄養学観点からクライアントのコンディショニングサポートが行える。

授業計画・内容

1回目	バランスの良い食事の重要性、消化吸収について理解し説明できる
2回目	3大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）のとり方について理解し説明できる①
3回目	3大栄養素（糖質・脂質・タンパク質）のとり方について理解し説明できる②
4回目	貧血と骨に関連したビタミン・ミネラルのとり方を理解し説明できる
5回目	水分補給・サプリメントによる影響について理解し説明できる
6回目	減量について理解し説明できる
7回目	エネルギー不足や女性アスリートの三主徴(FAT)について理解し説明できる
8回目	増量について理解し説明できる
9回目	腸内環境と栄養について理解し説明できる
10回目	成長期・シニア期における栄養管理について理解し説明できる
11回目	朝食の重要性を理解し説明できる
12回目	実生活に活かせる対象者に応じたレシピ媒体づくり
13回目	グループ発表、まとめ・復習
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習 時間外学習	1年次に学んだ基礎栄養学、授業毎の内容を復習する。
---------------	---------------------------

評価方法	1. 定期試験 (90%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (10%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
------	---	---

受講生への メッセージ	知識をインプットするだけでなく、色々なケースを想定してアウトプットできるように意識して学んでいきましょう。
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】
使用>公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト
参考>公益財団法人 健康・体力づくり事業団 健康運動実践指導者養成用テキスト、理論と実践スポーツ栄養学

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	社会学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名 (英)	スポーツ社会学 (Sports sociology)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間 (I 部)					曜日・時限	土曜日・1限

【授業の学習内容】

スポーツの社会的影響だけではなく、社会の中のスポーツの在り方について学びます。その他、トップアスリートが抱える問題や遠征時などの環境についてどのように対応してくべきなのか実践例も含めた授業構成です。また、スポーツと社会との関わりを学び、スポーツに対して社会的な観点からアプローチすることの重要性を学び、そこで得られた問題の解明方法などを具体例を交えながら学び、習得する。

実務者実績：成人・中高年者のスポーツ・ライフプロモーションとその便益に関する研究を積み、生涯スポーツを専門とする。マスタースポーツのイベント企画や運営にも関わる。

【到達目標】

スポーツと社会情勢について理解して諸問題についての解決策などを考案・実践することを目的とする。

〈具体的な目標〉

目標①スポーツの文化やその歴史についての説明ができる

目標②アスリートに関わる社会的問題とその解決方法について説明ができる

目標③スポーツチーム、集団、組織におけるそれぞれの社会的役割について説明ができる目標④スポーツと地域社会とのつながりについて説明ができる

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・スポーツと社会の実際について知ることができる		
2回目	社会の中のスポーツについて説明することができる		
3回目	日本のスポーツやスポーツプロモーションについて説明できる		
4回目	トップアスリートを取り巻く問題について説明できる（海外遠征）①		
5回目	トップアスリートを取り巻く問題について説明できる（海外遠征）②		
6回目	トップアスリートを取り巻く問題について説明できる（海外遠征）③		
7回目	中間試験		
8回目	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任について説明できる		
9回目	スポーツと人権について説明することができる①		
10回目	スポーツと人権について説明することができる②		
11回目	実際に発生したスポーツ事故について説明ができ、対応策を考案することができる①		
12回目	実際に発生したスポーツ事故について説明ができ、対応策を考案することができる②		
13回目	まとめ		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習時間 外学習	ニュースの記事を日頃から読むことが大切です。社会の中で起こるスポーツに関する出来事を知っていくことで、スポーツを見る視野が広がります。まずは興味を持ちましょう。		
評価方法	1. 定期試験 (80%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (20%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	スポーツにおける社会的問題を考慮した指導者に向けた授業になっており、実際に起こっている例を知っていきながら、今後の対応策などを一緒に考えていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	スポーツ医学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	井澤 秀野
科目名 (英)	スポーツ医学Ⅱ (Sports Medicine Ⅱ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	月曜・3限

【授業の学習内容】

1年次に学んできた、各競技スポーツにおける外傷・障害や一般の方に多い怪我などをトレーナーは、どのようにして症状の評価し把握をして、再発予防に向けてのトレーニングやストレッチ等を指導していくのかを理解し、実際にプログラム立案まで到達することを目標とする。

*実務経験:

2005年～2013年ヤマハ発動機ラグビー部トレーナー、2013年～現在 東海大学附属相模高等学校ラグビー部トレーナー、2015年～2016年 IBM BIG BLUEアメリカンフットボール部トレーナー、2015年～2016年 セブンズラグビー日本代表トレーナー、2017年 栗田工業ラグビー部トレーナー、2018年～現在 富士通アメリカンフットボール部トレーナー、アメフト日本代表トレーナー、各チームにおいて、外傷発生時の応急処置、及び、選手のコンディショニング、リハビリテーションに携わる

【到達目標】

スポーツ外傷・障害に対する症状の把握、またスポーツ傷害の予防、リコンディショニングに対するメニュー作成・運動処方を修得する。

目標①スポーツ活動時に多い外傷・障害が説明できる

目標②スポーツ障害の予防プログラム（ストレッチ等）が作成できる

目標③スポーツ外傷に対する評価方法が説明できる

授業計画・内容

1回目	足部・足関節の外傷・障害について説明が出来る
2回目	大腿部・下腿部の外傷・障害について説明が出来る
3回目	膝関節の外傷・障害について説明が出来る
4回目	膝関節の外傷・障害について説明が出来る
5回目	腰・背部・骨盤の外傷・障害について説明が出来る
6回目	頸部の外傷・障害について説明が出来る
7回目	肩部の外傷・障害について説明が出来る
8回目	肘関節の外傷・障害について説明が出来る
9回目	手・手指の外傷・障害について説明が出来る
10回目	頭蓋骨折・脳損傷・脳振盪の外傷・障害について説明が出来る
11回目	脊髄損傷・胸腹部外傷・大出血の外傷・障害について説明が出来る
12回目	顔面・目の外傷・障害について説明が出来る
13回目	前期のまとめ・復習
14回目	定期試験
15回目	解答返却・解説

準備学習 時間外学習	スポーツ外傷と障害を取り扱うにあたり、解剖学の復習が必要になります。また、リハビリテーションを取り扱うにあたり、1年次のスポーツ医学の内容の復習が必要になります。
---------------	---

評価方法	1. 定期試験 80 (%) 2. グループ発表 20 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験とグループ発表で評価をします。
------	------------------------------------	---	---------------------

受講生への メッセージ	外傷、障害の理解を深め、怪我や不定愁訴で悩む選手のニーズに応えていくこともアスレティックトレーナーには必要なスキルです。医学とトレーニングを結び付けていきましょう。
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト 3巻 「スポーツ外傷・障害の基礎知識」

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	基礎医学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西山 伸吾
科目名 (英)	救急処置法 (Emergency Treatment Method)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	昼間 Ⅰ部 (AIトレーナー/スポーツマネジメント)					曜日・時限	金曜・2限
【授業の学習内容】							
救急処置法の授業では、外傷時、緊急時における救急処置の知識、技術を習得する。具体的には指導現場などで起こった捻挫、打撲などの外傷の処置方法や心停止、頭部外傷、熱中症などの救急時に必要な処置方法を習得する。							
* 実務経験:							
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格取得。2021年3月まで15年間フリーランスとして活動し、現在はスポーツクリニックに勤務している。外傷や脳震盪などの発生頻度が多いコンタクトスポーツのラグビーやアメリカンフットボールでのトレーナー経験がある。							
【到達目標】							
RICE処置や頭部外傷などの救急処置について説明ができる。							
心肺蘇生法、頭部外傷、RICE処置などの救急処置の対応ができる。							
授業計画・内容							
1回目	救急処置の基本的知について説明ができる。						
2回目	スポーツ現場における救急処置について説明ができる。						
3回目	外傷時の救急処置（RICE処置について）について説明ができる。						
4回目	外傷時の救急処置（皮膚などの傷）について説明ができる。						
5回目	緊急時の救命処置（頭部外傷）について説明ができる。						
6回目	緊急時の救命処置（頭部外傷）について説明ができる。						
7回目	緊急時の救命処置（心肺蘇生法）について説明ができる。						
8回目	緊急時の救命処置（AED、気道異物除去）について説明ができる。						
9回目	緊急時の救命処置（実技：心肺蘇生法、バックボードでの運搬）についての実習を行う。						
10回目	緊急時の救命処置（応用、ケーススタディ：頭部外傷、心肺蘇生法）についての実習を行う。						
11回目	内科的疾患の救急処置について説明ができる。						
12回目	現場における救急体制について説明ができる。						
13回目	救急処置まとめ						
14回目	定期試験						
15回目	解説						
準備学習 時間外学習	授業で実施した内容の処置方法の復習を行って下さい。救急時に対処できるためには人が倒れた際にどのような対処が必要かなど日々振り返って下さい。						
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（0％） 3. レポート（0％） 4. 課題成果（20％） 5. 実地試験（0％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	救急処置は医療、スポーツ、フィットネスなど、どの分野でも必要とされる知識、技術です。また救急処置を求められる場面は突然やってきます。救急処置を的確に行うためには準備が必要です。その場面がきたときに正しく対処できるように学び、準備していきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト8「救急処置」							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	井戸田 修一
科目名 (英)	トレーニング概論 (Introduction to Training)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	水曜・2限
【授業の学習内容】 人体が動く仕組みや外的・内的刺激に適応していくメカニズム、またはトレーニングなどの様々な介入がもたらす効果の有無やその大きさの違いなどトレーニングに関わる知識を修得する。また、各自目的に合ったトレーニングメニューの作成方法を学ぶ。 *実務経験: 実務者経験：大学卒業後、スポーツクラブで約12年勤務。自分自身の現場の中で培った接客等のスキルはもちろん、店長としての現場マネジメントを通して、店舗運営や人材育成等多岐に渡り担当。スタジオレッスンも多数担当。 過去1レッスン内にて120名近くの集客実績もあり。							
【到達目標】 エクササイズの意味・目的を正しく理解し、トレーナーとして選手やクライアントに最も有効なエクササイズやトレーニングの処方ができるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	トレーニングの概要・特性について説明ができる		
2回目	スポーツ選手のパフォーマンスアップに関わるトレーニング要素について説明ができる		
3回目	スポーツ選手に対するトレーニング処方に関する注意点について説明ができる		
4回目	ジュニア期に対するトレーニング処方に関する注意点について説明ができる		
5回目	女性に対するトレーニング処方に関する注意点について説明ができる		
6回目	疾患を持った選手に対するトレーニング処方について説明ができる（リハビリテーションの観点から）		
7回目	エクササイズによるスポーツ傷害予防プログラムの有効性について説明ができる		
8回目	レジスタンストレーニングの特徴と注意点について説明ができる		
9回目	有酸素運動の特徴と注意点について説明ができる		
10回目	ブライオメトリクストレーニングの特徴と注意点について説明ができる		
11回目	スピード・アジリティの特徴と注意点について説明ができる		
12回目	様々なストレッチングの特徴と注意点について説明ができる		
13回目	フィットネス要素について説明ができる		
14回目	定期試験		
15回目	解答返却・解説		
準備学習 時間外学習	トレーニングの要素や、各エクササイズの特徴を修得するにあたり、1年次に学ぶレジスタンストレーニングの内容を復習しておく必要があります		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験で評価を行います
受講生への メッセージ	トレーニングを教えることは、トレーニングを積んだ一般人でもできることです。トレーナーとして仕事とするには、1つ1つのトレーニングの特徴をきちんと捉え、クライアントに合ったメニューを提供できる能力です。この授業を通じて、エクササイズの選択に必要な指揮を身に付けましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】プリント配布			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	英会話		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC 講師
科目名 (英)	英会話ⅡA (English ConversationⅡA) レベルB							
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科							
コース	昼間 (Ⅰ部)		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日5限/木曜日5限
【授業の学習内容】								
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場 面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。								
【到達目標】								
日常生活での情報・説明や、まとまりのある内容が理解できるようになる。また日常生活の話題について、出来事の説明、用件を伝えることがで きる。								
授業計画・内容								
1回目	1.1 [WH-question]を使い、相手の性格について話す			16回目	4.1 [be going to/will]を使い、将来のことについて話す 個人的な意見を述べ、計画を立てる表現を学ぶ			
2回目	1.2 「間接疑問文」を学ぶ 相手に質問をする、また質問に答える			17回目	4.2 旅行の計画を立てる 「現在進行形」を使い、将来のプランについて話す [will]を使い、突然の決定について話す			
3回目	1.3 自己紹介をし、知り合いになる 会話の中、第三者を紹介する			18回目	4.3 難しい状況において、相手を安心させる、またそれに答える 表現を学ぶ			
4回目	1.4 段落を認識する 親戚へのメールを読む、書く			19回目	4.4対面授業と連動 イベントへの招待を読む、書く4.4 イベント内容、スケジュールが書いてあるメールを読む、ま た書く			
5回目	1.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「良い リーダーになるには何が必要かをディスカッションし、自分の 考えを発表する」 ・前期発表と連動する内容			20回目	4.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「さまざまな人に異なるアクティビティをアサインする」 ・前期発表と連動する内容			
6回目	2.1 「現在完了形」を復習する 自分の持ち物について述べる			21回目	5.1 「単純過去形」を使い、ものを失くす/見つける場面におい て、会話する			
7回目	2.2 「現在完了形」の文の中の[already/yet]の使い方を学ぶ 自分の持ち物について述べる2			22回目	5.2 「単純過去形」、「過去進行形」を学ぶ、復習する 人を助ける、人に助けを求める場面において、会話する			
8回目	2.3 話題を変える表現を学ぶ 短い質問文を使い、関心を示す			23回目	5.3 驚いたできごとについて話す 言葉をかえて、驚きを表す			
9回目	2.4 ネット広告を読む、書く			24回目	5.4 簡単な物語を読む、書く			
10回目	2.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「出かける時の持ち物についてディスカッションをする」 ・前期発表と連動する内容			25回目	5.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション「おも しろい、驚くストーリーを作り、発表する」 ・前期発表と連動する内容			
11回目	3.1 「冠詞」を学ぶ 自分の町について話す			26回目	6.1 「数量詞」を学ぶ 都会の問題について話す			
12回目	3.2 「助動詞」を学ぶ			27回目	6.2 「現在・未来の条件文」を学ぶ 問題と解決策について話す			
13回目	U1-3の振り返り			28回目	6.3 [though]を使い、反対意見を述べる 様々な状況での心配、また安心を表現する			
14回目	3.4 求職申し込みを読み、申込書を書く			29回目	6.4 価値観についてのネット投稿を読む、書く			
15回目	3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 ・前期発表と連動する内容3.5			30回目	6.5 Time to Speak：前期発表			
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。							
評価方法	1. 期末試験 (50 %) ※オンデマンド授業 2. 中間試験 (50 %) ※オンデマンド授業 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)		評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。							
【使用教科書・教材・参考書】								
Evolve 3								

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	英会話		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC 講師
科目名 (英)	英会話ⅡA (English ConversationⅡA) レベルC							
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科							
コース	昼間（Ⅰ部）							
【授業の学習内容】								
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、英語講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。								
【到達目標】								
リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。								
授業計画・内容								
1回目	1.1 所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す			16回目	4.1 将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ			
2回目	1.2 所有代名詞(whose)を学ぶ			17回目	4.2 「目的語」の使い方を学ぶ 贈り物について話す			
3回目	1.3 話の切り出し方を学ぶ 会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ			18回目	4.3 招待する、招待に応える表現を学ぶ 招待を断る理由を説明する			
4回目	1.4 自己紹介をする 職場でのフォーマルなメールを読む、書く			19回目	4.4 イベントへの招待を読む、書く			
5回目	1.5 ・スピーキング評価：ロールプレイ・プレゼンテーション 「人と共通していることについて話す」 ・前期発表と連動する内容			20回目	4.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「プレゼントを選ぶについて」 ・前期発表と連動する内容			
6回目	2.1 習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question]を練習する			21回目	5.1 人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝える			
7回目	2.2 名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ 職場について話す			22回目	5.2 「過去形」（陳述文の否定形；疑問文）を復習する			
8回目	2.3			23回目	5.3			
9回目	2.4 ポッドキャストについての意見を読む、書く			24回目	5.4 新しい場所での経験についての投稿を読む、また賛成・反対の反応を書く			
10回目	2.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「仕事や勉強のためのアプリについて発表する」 ・前期発表と連動する内容。			25回目	5.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「過去の有名な出来事をまとめる」 ・前期発表と連動する内容			
11回目	3.1 「現在進行形」を学ぶ・復習する 今していることについて話す			26回目	6.1 [be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する			
12回目	3.2 「現在進行形」「単純現在形」を練習する スポーツ、運動について話す			27回目	6.2 「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す			
13回目	3.3 情報を得るため、必要な表現を学ぶ 知らない情報をチェックする			28回目	6.3 店内で欲しいものについて述べる 物事の言い方を英語で聞く			
14回目	3.4 サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く			29回目	6.4 新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く			
15回目	3.5 ・スピーキング：ロールプレイ・プレゼンテーション 「フィットネスプログラムを作る、発表する」 ・前期発表と連動する内容			30回目	6.5 Time to Speak：前期発表			
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。							
評価方法	1. 期末試験（50％）※オンデマンド 2. 中間試験（50％）※オンデマンド 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）		評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。							
【使用教科書・教材・参考書】 Evolve 2								

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	特別講義	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	黒柳 茂
科目名 (英)	特別講義Ⅱ (Special LectureⅡ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）			(単位)	2	曜日・時限	木曜・2限
【授業の学習内容】 スポーツビジネス概論の中で実践につなげるために「理論領域」と「実技領域」に分けられます。理論領域には「Ⅰ必要とされる資質」「Ⅱ職務知識」「Ⅲ一般知識」の3つである。実技領域には「Ⅳマナー、接遇」「Ⅴ技能」の2つである。以上5つのポイントを学習します。 *実務経験: 愛知県の商業高校でビジネス実務経験があり、検定委員を担当する。スポーツ推進委員長として各種スポーツ団体、スポーツクラブ理事長、レクスportsなどを現在担当。過去高校では、ゴルフ部、サッカー部などのスポーツ関係の監督、指導などを経験。全国スポーツ推進功労者表彰受ける。							
【到達目標】 理論、実技領域とも60％以上が合格となります。どちらか一方が60％未満のときは不合格となります。定期試験、USB、態度などを守り、検定合格を目標として学習する。							

授業計画・内容			
1回目	【第1章 必要とされる資質】 ①秘書の心構えについて説明できるようになる。		
2回目	②要求される資質について説明できるようになる。		
3回目	【第2章 職務知識】 ①秘書の機能と役割について説明できるようになる。		
4回目	②職務の上手心得と仕事の進め方について説明できるようになる。		
5回目	【第3章 一般知識】 ①企業の基礎知識と社会常識について説明できるようになる。		
6回目	【第4章 マナー、接遇】 ①職場での話し方について説明できるようになる。		
7回目	②電話応対、接遇について説明できるようになる。		
8回目	③交際について説明できるようになる。		
9回目	【第5章 技能】 ①会議、文書の作成について説明できるようになる。		
10回目	②文書の取り扱いについて説明できるようになる。		
11回目	③資料管理、日程管理について説明できるようになる。		
12回目	④仕上げ1、2 について説明できるようになる。		
13回目	⑤模擬試験について説明できるようになる。		
14回目	定期試験		
15回目	まとめ、解説		
準備学習 時間外学習	集中講義改定版のテキストケーススタディで学ぶ。ファイリング、USBなどで保存繰り返し学習する。		
評価方法	1. 定期試験(60%) 2. 課題(20%) 3. 授業態度、出欠(20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	知識だけでなく、態度、振る舞い、話し方の調子など体得部分があり、知識と連結しています。		
【使用教科書・教材・参考書】			
実務技能検定協会 秘書検定 集中講義 3級（早稲田教育出版）			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	健康運動実践	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大西 城太郎
科目名 (英)	健康運動実践指導者Ⅰ (Fitness InstructorⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ・Ⅱ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	月曜・4限

【授業の学習内容】

健康運動実践指導者資格試験合格に必要な知識（健康・生理学・機能解剖・栄養学）の習得

* 実務経験:

1999年～現在に至るまで様々な年代の人に対して水泳、アクアビクス、ストレッチ、筋力トレーニングなどの指導を実施。また、2006年～関西男子ラクロス選抜、ユースでもトレーナーとしてチーム常同、2007年～2023年まで立命館大学男子ラクロス部で、2024年からは京都産業大学男子ラクロス部でトレーナーとして活動している。2023年から京都のクリニックで非常勤としてメディカルフィットネスでも指導を行っている。

【到達目標】

1. 健康運動実践指導者試験に合格するために必要な知識の習得
2. 習得した知識を自分の現場での指導に役立てるようになる

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーションと世界の健康施策について説明できるようになる		
2回目	日本の健康施策とメタボリックシンドローム・生活習慣病について説明できるようになる		
3回目	運動の発現、運動の分類について説明できるようになる		
4回目	筋収縮のためのエネルギーの分類と特徴、筋繊維の分類と特性について説明できるようになる		
5回目	呼吸系・循環系の特徴と酸素借・酸素負債について説明できるようになる		
6回目	持久系トレーニングによる適応と発育・発達、加齢による変化について説明できるようになる		
7回目	中間テスト（第1章、第2章）		
8回目	骨・関節・骨格筋などの解剖・機能解剖について説明ができるようになる		
9回目	仕事とエネルギー、運動量と力積、水中と陸上運動の違いなどについて説明できるようになる		
10回目	5大栄養素の役割について説明できるようになる		
11回目	消化・吸収、減量計画についての説明ができるようになる		
12回目	運動指導の心理学的基礎について説明できるようになる		
13回目	体力と新体力テストについて説明できるようになる		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	学習する内容に該当する部分についてテキストを事前に読んでおくこと。生理学、解剖学、栄養学の分野は1年生で学習したノートなどで復習しておくこと。授業後はどの問題のどの部分が間違ったのかを確認し、知識の定着を図ること。		
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（20％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	この授業は資格試験合格を目指して行うものですが、ただ単に資格の合格のためだけに知識を暗記するだけでなく、習得した知識を現場でも生かせるようにしていければと考えています。1年間がんばりましょう！		
【使用教科書・教材・参考書】『健康運動実践指導者養成用テキスト』（公益財団法人 健康・体力づくり事業財団）			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	コーチング	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大西 城太郎
科目名 (英)	コーチング概論 (Coaching Introduction)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	昼間 I 部 (AIトレーナー/スポーツマネジメント)					曜日・時限	火曜・3限
【授業の学習内容】							
コーチングとはどのようなことをするのか、また、コーチングを行うにあたって必要な知識を身につけるとともに、実践を通してスキルを学ぶ。							
*実務経験:							
1999年からフィットネスクラブでアルバイトを開始し、様々な年代の方に水泳、アクアビクス、トレーニング指導などを行ってきた。その後は現在に至るまで、大学ラクロス部でトレーナー、スポーツ系専門学校で講師として後進の指導に育成に携わっている。							
【到達目標】							
1. セルフコーチングができるようになる							
2. 対人コーチングができるようになる							
3. スキルのコーチングについて理解し、実践できるようになる							
授業計画・内容							
1回目	コーチングとは（自己コミュニケーションの実践）						
2回目	価値観・信念（ビリーフ）、モチベーションについて理解し、説明できるようになる						
3回目	目標の明確化（イメージと五感の使い方）について理解し、説明できるようになる						
4回目	イメージを具体化し、説明できる						
5回目	行動計画の立案し、説明できる						
6回目	目標設定と行動計画（10年後の私）を実践する						
7回目	リフレーミングとメンタルの整え方を実践する						
8回目	対人コミュニケーション（傾聴力とペーシング）を実践する						
9回目	観察力を高め、実践する（五感の優位システムについて）						
10回目	コーチングセッションを実践する						
11回目	1年間の振り返りと2024年の目標設定を実践する						
12回目	スポーツスキルのコーチング（スポーツ技能の習得）を実践する						
13回目	スポーツスキルのコーチング（練習時間と頻度からみた練習法）を実践する						
14回目	定期試験						
15回目	試験解説						
準備学習 時間外学習	毎回、課題を出すのでそれを実践することが学習につながります。						
評価方法	1. 定期試験（70%） 2. 小テスト（%） 3. レポート（%） 4. 課題成果（30%） 5. 実地試験（%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	毎回、ワークを取り入れながら授業を展開していこうと考えています。積極的に取り組んで自分自身の生活に役立ててほしいです。						
【使用教科書・教材・参考書】							
プリントを適宜配布							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	データ解析	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名 (英)	動作解析Ⅰ (Motion AnalysisⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜日 3限・4限
【授業の学習内容】							
世界中のあらゆる競技で活用されている分析ソフト(ダートフィッシュ)のノウハウを学び、分析を実践していく。							
*実務経験:							
講師:株式会社ダートフィッシュ・ジャパン代表取締役 社長							
【到達目標】							
ダートフィッシュソフトを活用し、分析スキルを身につけることができる							
授業計画・内容							
1回目	スポーツパフォーマンス分析入門を知ることができる						
2回目	ライブキャプチャーについて学ぶことができる						
3回目	映像の管理・再生・共有することができる						
4回目	動作分析のアプローチ 基礎を学ぶことができる						
5回目	動作分析のアプローチ 基礎比較を学ぶことができる						
6回目	動作分析のアプローチ データの表示と評価を学ぶことができる						
7回目	高度な比較映像の分析ができる①						
8回目	高度な軌跡映像の分析ができる②						
9回目	ゲーム分析のアプローチ 基礎を学ぶことができる 動作分析とゲーム分析の違い、ゲーム分析におけるパフォーマンス分析ができる						
10回目	タギングパネルの作成と設定 イベントデータをスマートデータへ表示を学ぶことができる						
11回目	ゲーム分析結果のプレゼンテーション、モンタージュを学ぶことができる						
12回目	ゲーム分析の実践できる						
13回目	3Dアナライザーの設定、実践できる						
14回目	分析プレゼンテーション作成ができる						
15回目	成果発表とテスト						
準備学習 時間外学習	各競技に興味を持ち、動画やニュース画像などを日ごろから見るようにしていきましょう。						
評価方法	1. 定期試験 70 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 30 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	動作分析ができるように、積極的姿勢で参加しましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
・講師が教材を用意いたします。(プリント配布・データー)							
・USB、PCを用意して下さい。							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	スポーツセンシング	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 文彦
科目名 (英)	測定評価Ⅰ (Measurement EvaluationⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ・Ⅱ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜・4,5限

【授業の学習内容】

セイバートリクスの入門的内容として、成立から現代までの発展の歴史を学びます。セイバートリクスというと、OPSやFIP、wOBA等々の近年になって開発された新しい指標をイメージする人が多いです。これらもセイバートリクスの成果であり産物ではありますが、授業ではこうした指標が生まれた過程を理解することに重点を置きます。

また、「こういうことが新たに分かった」というセイパーメトリクス①の知見をただ覚えるのではなく、根拠となったデータを見て理解できるようになることを目標とします。

* 実務経験:

株式会社DELTA公式サイト「1point02」において、コラム等を執筆し、メールマガジン「1.02 Weekly Report」で今週のデータ分析を担当する。また、「プロ野球を統計学と客観分析で考える デルタ・ベースボールリポート」にも執筆者として参加

【到達目標】

目標①セイバーメトリクスの成立から現代までの発展の過程を理解する

目標②セイバーメトリクス的发展によってもたらされた知見を覚えるのではなく、根拠となるデータを見てその意味を理解できるようになる

授業計画・内容

1回目	イントロダクション：セイバーメトリクスについての知識を習得する。
2回目	野球の一般原理①：ピタゴラス勝率・得点期待値・得点価値について説明ができる。
3回目	野球の一般原理②：野球のセオリーの見直しについて説明ができる。
4回目	野球の一般原理③：リーグ戦と短期決戦について説明ができる。
5回目	選手の評価①：打撃・走塁について説明ができる。
6回目	選手の評価②：守備・投球について説明ができる。
7回目	選手の評価③：総合評価について説明ができる。
8回目	成績の予測について説明ができる。
9回目	近年のトレンド①：トラッキングデータの導入について説明ができる。
10回目	近年のトレンド②：トラッキングデータがもたらしたものについて説明ができる。
11回目	近年のトレンド③：Baseball Savantについて説明ができる。
12回目	野球データの利用について説明ができる。
13回目	テスト
14回目	テスト講評
15回目	セイバーメトリクスのこれからについて説明ができる。

準備学習 時間外学習	特に時間外の学習は求めませんが、興味のある人は講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深めてください。
---------------	---

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法は G P A 制度となります 1 0 0 ~ 9 0 点 S 8 9 ~ 8 0 点 A 7 9 ~ 7 0 点 B 6 9 ~ 6 0 点 C 5 9 点以下 F 不合格	・テスト ・出欠 ・授業中での質問への回答
------	---	--	-----------------------------

受講生への メッセージ	魅力：初めは一部の好事家の楽しむものだったセイバーメトリクスも、現代では野球の一翼を担うまでに成長を遂げています。これを理解することは、野球に関わる人にとっては必須の知識となりつつあります。また、野球以外の競技に関わる人にとっても、転用可能なアイデアが多く含まれています。
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：セイバーメトリクス入門 脱常識で野球を科学する, 蛭川皓平(著), 岡田友輔(監修), 水曜社

関連図書：「プロ野球でわかる!」はじめての統計学, 株式会社DELTA 佐藤 文彦/student (著), 岡田 友輔 (監修), 技術評論社

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	パフォーマンス	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松沢 恵美
科目名 (英)	テーピング応用 (Taping Advance)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間 (Ⅰ部) (AIトレーナー)					曜日・時限	月曜・3限
【授業の学習内容】 選手やクライアントの方に発生する外傷や障害に対して、的確にテーピングを行う必要がある。各外傷や障害に対しての知識、その部位 に対しての解剖学的知識を習得したうえでテーピングを選択し実施する。本授業終了時には各外傷や障害、その部位についての知識、併 せてテーピングを正確に選択、実施するための技術を習得する。 *実務経験: 実施者経験 2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でコ ンディショニング、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィ シャルトレーナーを務める。							
【到達目標】 各外傷、障害についての知識や解剖学的知識を習得し、選手やクライアントの方に、使用するテープの目的、各手順ごとのテーピングの 目的までを正確に説明できる。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	足関節内反捻挫に対するテーピングを習得する		
3回目	足関節内反捻挫に対するテーピングを習得する		
4回目	足部に対するテーピングを習得する		
5回目	足部に対するテーピングを習得する		
6回目	膝関節の外傷に対するテーピングを習得する		
7回目	膝関節の外傷に対するテーピングを習得する		
8回目	肉離れに対するテーピングを習得する		
9回目	アキレス腱・下腿部に対するテーピングを習得する		
10回目	肩関節の外傷に対するテーピングを習得する		
11回目	肘関節の外傷に対するテーピングを習得する		
12回目	手関節・手指の外傷に対するテーピングを習得する		
13回目	定期試験		
14回目	定期試験		
15回目	試験開設		
準備学習 時間外学習	テーピングを実施するためには、解剖学的知識と、その部位に起こりうる外傷や障害に対しての知識が必要である。その為、各部位の解剖学、外傷や障害についての予習をしておく。また正確な技術を習得するために、繰り返し実践練習をしていく必要がある。		
評価方法	1. 定期試験（８０％） 3. レポート（２０％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	実際のスポーツ現場では、様々な怪我に遭遇する事が想定されます。その際、選手やクライアントの方に正確なテーピングを行うために、身体や外傷に対する知識と共に、正確なテーピング技術を習得してってください。考えながらテーピングを行うことで、技術向上を目指してください。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	コンディショニング	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	武山 修
科目名 (英)	コンディショニング演習 (Conditioning Seminar)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜・1限
【授業の学習内容】 コンディショニング概論、コンディショニング演習Ⅰで学んだ知識・技術をもとに、実際の現場で必要な応用力や対応力を修得する。また現場で求められるコミュニケーション能力やコンディショニング計画から実施までを学生に作成させ、より現場を意識した能力、技術を習得する。 *実務経験: 2010年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格取得。同時に鍼灸師の資格も取得。野球を中心にプロ・実業団・学生など様々なカテゴリーのコンディショニング指導に携わる。ジュニア世代からの傷害予防にも力を入れる。							
【到達目標】 知識や技術を学ぶだけでなく、実際に選手に対してどのようにコンディショニングをするかまでの実践を含めた対応力を修得できるようにする。							

授業計画・内容			
1回目	冬季競技のコンディショニングが理解して説明することができる①		
2回目	冬季競技のコンディショニングが理解して説明することができる②		
3回目	冬季競技のコンディショニングが理解して説明することができる③		
4回目	記録系競技のコンディショニングが理解して説明することができる①		
5回目	記録系競技のコンディショニングが理解して説明することができる②		
6回目	記録系競技のコンディショニングが理解して説明することができる③		
7回目	球技系競技のコンディショニングが理解して説明することができる①		
8回目	球技系競技のコンディショニングが理解して説明することができる②		
9回目	球技系競技のコンディショニングが理解して説明することができる③		
10回目	球技系競技のコンディショニングが理解して説明することができる④		
11回目	採点競技のコンディショニングが理解して説明することができる		
12回目	格技系競技のコンディショニングが理解して説明することができる		
13回目	まとめ・復習		
14回目	定期試験		
15回目	試験解説		
準備学習 時間外学習	様々な競技特性を理解する。傷害特性や体力特性など各競技に必要な要素も事前に理解を深めておく。		
評価方法	1. 定期試験 80% 2. 平常点 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	定期試験と平常点で評価をします。
受講生への メッセージ	これまでに学んだことをどんどん実践していきましょう。積極的に授業に参加して自ら行動、発言ができるような授業にしていきたいと思います。		
【使用教科書・教材・参考書】			
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト 6巻 「予防とコンディショニング」			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	スポーツビジネス	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	水谷 匡宏
科目名 (英)	スポーツビジネス演習Ⅱ (Sports Business SeminarⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	隔木曜・3.4限

【授業の学習内容】

映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。

*実務経験:

映像制作会社の取締役として映像の開発・制作を担う。

【到達目標】

映像制作の基礎を習得する。

スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標
2回目	映像の基本概念を理解する
3回目	撮影計画を立てる方法を学ぶ
4回目	撮影の基本技術を習得する
5回目	映像編集の基本操作を練習する
6回目	映像編集の基本操作を練習する
7回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
8回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
9回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
10回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
11回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
12回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
13回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
14回目	（課題制作）映像編集の実習を行う
15回目	前期期末試験

準備学習
時間外学習

映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。

評価方法

1. 定期試験（50％）
2. 小テスト（％）
3. レポート（％）
4. 課題成果（50％）
5. 実地試験（％）

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

受講生への
メッセージ

映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう

【使用教科書・教材・参考書】

- ・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）
- ・USBを持参して下さい。

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	制作	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	水谷 匡宏
科目名 (英)	映像テクニカルⅠ (Video Technogy Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜・1限
【授業の学習内容】							
映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。							
* 実務経験:							
映像制作会社の取締役として映像の開発・制作を担う。							
【到達目標】							
映像制作の基礎を習得する。							
スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標を理解する						
2回目	写真加工ソフトの基本操作を習得する						
3回目	写真加工ソフトの基本操作を習得する						
4回目	印刷物の制作を習得する						
5回目	（課題）印刷物の制作実習を行う						
6回目	（課題）印刷物の制作実習を行う						
7回目	（課題）印刷物の制作実習を行う						
8回目	（課題）印刷物の制作実習を行う						
9回目	（課題）映像編集の実習を行う						
10回目	（課題）映像編集の実習を行う						
11回目	（課題）映像編集の実習を行う						
12回目	（課題）映像編集の実習を行う						
13回目	（課題）映像編集の実習を行う						
14回目	前期末試験						
15回目	まとめ						
準備学習 時間外学習	映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。						
評価方法	1. 定期試験（50％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（50％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう						
【使用教科書・教材・参考書】							
・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）							
・USBを持参して下さい。							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	制作	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	水谷 匡宏
科目名 (英)	映像テクニカルⅡ (Video Technology Ⅱ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間 (Ⅰ部)					曜日・時限	金曜日 2限
【授業の学習内容】 映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。 ＊実務経験: 映像制作会社の取締役として映像の開発・制作を担う。							
【到達目標】 映像制作の基礎を習得する。 スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標						
2回目	映像制作①の実習を行う						
3回目	映像制作②の実習を行う						
4回目	映像制作③の実習を行う						
5回目	映像制作④の実習を行う						
6回目	映像制作⑤の実習を行う						
7回目	映像制作⑥の実習を行う						
8回目	映像制作⑦の実習を行う						
9回目	映像制作⑧の実習を行う						
10回目	映像制作⑨の実習を行う						
11回目	映像制作⑩の実習を行う						
12回目	映像制作⑪の実習を行う						
13回目	映像制作⑫の実習を行う						
14回目	前期期末試験						
15回目	まとめ						
準備学習 時間外学習	映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。						
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	1. 定期試験 50 (%) 4. 課題成果 50 (%)				
受講生への メッセージ	映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう						
【使用教科書・教材・参考書】 ・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー） ・USBを持参して下さい。							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	広告・宣伝	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 文彦
科目名 (英)	スポーツデザインⅡ (Sports Design Ⅱ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ・Ⅱ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜・4,5限
【授業の学習内容】 セイバーメトリクスの入門的内容として、成立から現代までの発展の歴史を学びます。セイバーメトリクスというと、OPSやFIP、wOBA等々の近年になって開発された新しい指標をイメージする人が多いです。これらもセイバーメトリクスの成果であり産物ではありますが、授業ではこうした指標が生まれた過程を理解することに重点を置きます。 また、「こういうことが新たに分かった」というセイバーメトリクスの知見をただ覚えるのではなく、根拠となったデータを見て理解できるようになることを目標とします。 * 実務経験: 株式会社DELTA公式サイト「1point02」において、コラム等を執筆し、メールマガジン「1.02 Weekly Report」で今週のデータ分析を担当する。また、「プロ野球を統計学と客観分析で考える デルタ・ベースボールリポート」にも執筆者として参加							
【到達目標】 目標①セイバーメトリクスの成立から現代までの発展の過程を理解する 目標②セイバーメトリクスの発展によってもたらされた知見を覚えるのではなく、根拠となるデータを見てその意味を理解できるようになる							
授業計画・内容							
1回目	イントロダクション：セイバーメトリクスについての知識を習得する。						
2回目	野球の一般原理①：ピタゴラス勝率・得点期待値・得点価値について説明ができる。						
3回目	野球の一般原理②：野球のセオリーの見直しについて説明ができる。						
4回目	野球の一般原理③：リーグ戦と短期決戦について説明ができる。						
5回目	選手の評価①：打撃・走塁について説明ができる。						
6回目	選手の評価②：守備・投球について説明ができる。						
7回目	選手の評価③：総合評価について説明ができる。						
8回目	成績の予測について説明ができる。						
9回目	近年のトレンド①：トラッキングデータの導入について説明ができる。						
10回目	近年のトレンド②：トラッキングデータがもたらしたものについて説明ができる。						
11回目	近年のトレンド③：Baseball Savantについて説明ができる。						
12回目	野球データの利用について説明ができる。						
13回目	テスト						
14回目	テスト講評						
15回目	セイバーメトリクスのこれからについて説明ができる。						
準備学習 時間外学習	特に時間外の学習は求めませんが、興味のある人は講義中に紹介する書籍や文献を読んで理解を深めてください。						
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 1.00～9.0点 S 8.9～8.0点 A 7.9～7.0点 B 6.9～6.0点 C 5.9点以下 F 不合格	・テスト ・出欠 ・授業中での質問への回答				
受講生への メッセージ	魅 力：初めは一部の好事家の楽しむものだったセイバーメトリクスも、現代では野球の一翼を担うまでに成長を遂げています。これを理解することは、野球に関わる人にとっては必須の知識となりつつあります。また、野球以外の競技に関わる人にとっても、転用可能なアイデアが多く含まれています。						
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：セイバーメトリクス入門 脱常識で野球を科学する, 蛭川皓平(著), 岡田友輔(監修), 水曜社 関連図書：[プロ野球でわかる!]はじめての統計学, 株式会社DELTA 佐藤 文彦/student (著), 岡田 友輔 (監修), 技術評論社							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	データ解析	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名 (英)	動作解析Ⅰ (Motion AnalysisⅠ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間(Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜日 3限・4限
【授業の学習内容】							
世界中のあらゆる競技で活用されている分析ソフト(ダートフィッシュ)のノウハウを学び、分析を実践していく。							
*実務経験:							
講師:株式会社ダートフィッシュ・ジャパン代表取締役 社長							
【到達目標】							
ダートフィッシュソフトを活用し、分析スキルを身につけることができる							
授業計画・内容							
1回目	スポーツパフォーマンス分析入門を知ることができる						
2回目	ライブキャプチャーについて学ぶことができる						
3回目	映像の管理・再生・共有することができる						
4回目	動作分析のアプローチ 基礎を学ぶことができる						
5回目	動作分析のアプローチ 基礎比較を学ぶことができる						
6回目	動作分析のアプローチ データの表示と評価を学ぶことができる						
7回目	高度な比較映像の分析ができる①						
8回目	高度な軌跡映像の分析ができる②						
9回目	ゲーム分析のアプローチ 基礎を学ぶことができる 動作分析とゲーム分析の違い、ゲーム分析におけるパフォーマンス分析ができる						
10回目	タギングパネルの作成と設定 イベントデータをスマートデータへ表示を学ぶことができる						
11回目	ゲーム分析結果のプレゼンテーション、モンタージュを学ぶことができる						
12回目	ゲーム分析の実践できる						
13回目	3Dアナライザーの設定、実践できる						
14回目	分析プレゼンテーション作成ができる						
15回目	成果発表とテスト						
準備学習 時間外学習	各競技に興味を持ち、動画やニュース画像などを日ごろから見るようにしていきましょう。						
評価方法	1. 定期試験 70 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 30 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格					
受講生への メッセージ	動作分析ができるように、積極的姿勢で参加しましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】							
・講師が教材を用意いたします。(プリント配布・データー)							
・USB、PCを用意して下さい。							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	スポーツビジネス	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	水谷 匡宏
科目名 (英)	スポーツビジネス演習Ⅲ (Sports Business SemunarⅢ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	昼間 I 部 (AIトレーナー／スポーツマネジメント)					曜日・時限	月曜・4 限
【授業の学習内容】 映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。 * 実務経験: 映像制作会社の取締役として映像の開発・制作・経営管理を担う。							
【到達目標】 映像制作の基礎を習得する。 スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標		
2回目	Photo shopの基礎知識Ⅰを習得する。		
3回目	Photo shopの基礎知識Ⅱを習得する。		
4回目	Illustratorの基礎知識Ⅰを習得する。		
5回目	Illustratorの基礎知識Ⅱを習得する。		
6回目	映像編集の活用方法Ⅰについて習得する。		
7回目	映像編集の活用方法Ⅱについて習得する。		
8回目	映像編集の活用方法Ⅲについて習得する。		
9回目	映像編集の活用方法Ⅳについて習得する。		
10回目	映像編集の活用方法Ⅴについて習得する。		
11回目	映像編集の活用方法Ⅵについて習得する。		
12回目	映像編集の活用方法Ⅶについて習得する。		
13回目	映像編集の活用方法Ⅷについて習得する。		
14回目	試験課題（制作物）		
15回目	後期期末試験		
準備学習 時間外学習	映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。		
評価方法	1. 定期試験 50（％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果 50（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	1. 定期試験 50（％） 4. 課題成果 50（％）
受講生への メッセージ	映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう		
【使用教科書・教材・参考書】			
・ 講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）			
・ USBを持参して下さい。			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修 選択	必修 (選択)	年次	2	担当教員	熊崎 悦子
科目名 (英)	MOSスペシャリスト (MOS Specialist)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間 (Ⅰ・Ⅱ部)					曜日・時限	
【授業の学習内容】							
スポーツ系は、Excelスキルは必須となるので、Microsoft Office Specialist Excel2019の試験対策を行い取得することを目的とします。 主にExcelの基本的で多岐に渡る操作に関する資格になりますので、試験の傾向と解答のコツを説明しながら模擬試験を行うスタイルの授業になります。この授業を受けることで、Excelの幅広い操作を習得することができます。							
*実務経験:							
専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約21年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約9年行い継続中。また、Web関係のプログラミングを中心としたIT関連の業務を主に行っている。基本情報処理技術者、MOS(Excel365&2023)、工業高校教員2級を所持。							
【到達目標】							
Microsoft Office Specialist Excel365&2023の試験対策を経て、MOSを取得することです。							

授業計画・内容			
1回目	MOS Excel2023 受験申込する。MOS試験について理解ができる。		
2回目	MOS Excel2023 Excel環境の管理を習得する（第1章） 模擬試験1を練習モードで行い試験手順がわかる		
3回目	MOS Excel2023 セルデータの作成ができる（第2章） 模擬試験1を練習モードで行い解答が理解できる		
4回目	MOS Excel2023 セルやワークシートの書式設定ができる（第3章） 模擬試験2を練習モードで行い解答が理解できる		
5回目	MOS Excel2023 ワークシートやブックの管理ができる（第4章） 模擬試験3を練習モードで行い解答が理解できる		
6回目	MOS Excel2023 数式や関数を使うことができる（第5章） 模擬試験4を練習モードで行い解答が理解できる		
7回目	MOS Excel2023 視覚的なデータの表示をすることができる（第6章） 模擬試験5を練習モードで行い解答が理解できる		
8回目	MOS Excel2023 ワークシートのデータ共有をすることができる（第7章） 模擬試験1を本番モードで行い習得する		
9回目	MOS Excel2023 データの分析と生理をすることができる（第8章） 模擬試験のランダム出題で練習を行い操作の習得をする		
10回目	MOS Excel2023 模擬試験1～5を本番モードで行い操作の習得をし、実力判定テストを行い操作の習得をする		
11回目	MOS Excel2023 模擬試験1～5を本番モードで行い操作の習得をする		
12回目	MOS Excel2023 模擬試験1～5を本番モードで行い操作の習得をし、実力判定テストを行い操作の習得をする		
13回目	MOS Excel2023 模擬試験1～5を本番モードで行い練習を重ねて理解を深める		
14回目	MOS Excel2023 模擬試験1～5を本番モードで行い練習を重ねて理解を深める		
15回目	MOS Excel2023 試験を受けて、合格をする		
準備学習 時間外学習	○授業中に大切であると話した箇所は何度も復習をする。 ○模擬試験問題を徹底的に解いて、問題出題方法に慣れること。 ○模擬試験問題を徹底的に解くことで操作方法を覚えること。		
評価方法	1. 定期試験（％） 2. 小テスト（50％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（50％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	評価は、2度の「実力判定テスト」の結果50％と 実際の試験結果50％で行います。 実地試験の50％は、本試験で合格の場合のみです。
受講生への メッセージ	Excelの基本操作を覚えるための資格試験です。 スキルアップになるだけでなく、取得をすると履歴書へ書くことができます。 就職にも有利になりますので、がんばって合格しましょう！		
【使用教科書・教材・参考書】			
○テキスト Microsoft Office Specialist攻略問題集Excel365&2023（日経BP社）			